

2025年12月14日作成 Ver.4

## 《情報公開文書》

歯科手術既往が歯肉扁平上皮癌の治療成績に与える影響についての後ろ向き観察研究

## 研究の概要

## 【背景】

歯肉癌の特徴として、歯周炎に類似した所見を呈することがあり、その場合、歯周炎と誤認されて抜歯、歯周治療、あるいは歯肉癌や他の病変を疑っての生検といった歯科手術が行われることがあります。その後の治癒不全により発見されることがほとんどですが、歯科手術により癌細胞を播種（散らばる）させる危険性が指摘されています。

既報告では誤認率は25%程度であり、歯科手術を受けた症例は有意に治療成績が悪いことが指摘されていますが、既報告は少数例で科学的根拠に乏しく、また一般的に周知されておらず、不明な部分が多いとされています。

## 【目的】

本研究では、歯肉扁平上皮癌において初回治療前に癌部位への歯科手術の有無と治療経過および予後との関連を明らかにします。

## 【意義】

これが明らかになることで、より適切な術後補助療法を選択することが可能となり、今後の口腔外科診療へ貢献できると考える。

## 【方法】

当院で既存のカルテから症例を集めて、研究に用いる情報を診療録から収集し、治療成績および予後について検討します。

## 対象となる患者さん

2008年6月1日から2024年4月30日に長崎大学病院 口腔外科で口腔癌に対しNCCNガイドラインに準じた治療を行った患者さん。

## 研究に用いる情報

本研究は診療録より患者情報として性別、初診時年齢、原発部位、cTNM分類、癌部位の歯科手術既往の有無、治療および転帰として手術内容、術後治療の有無、術後治療の内容（放射線療法、放射線化学療法、照射線量、抗がん剤の内容）、初診日から局所再発、頸部再発までの期間、予後、遠隔転移に関する情報として初診日から遠隔転移発症までの期間、遠隔転移の部位、遠隔転移に対する治療、病理組織学的所見（手術時）：分化度、pTN分類、浸潤様式、リンパ管浸潤、脈管浸潤、神経周囲浸潤、切除断端、節外浸潤、pN個数を収集

<p>します。詳しい内容についてお知りになりたい方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。</p>	
<p><b>情報の利用開始予定日</b></p>	
<p>本研究は2026年1月21日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。</p>	
<p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
<p><b>研究実施期間</b></p>	
<p>研究機関長の許可日～2028年12月31日</p>	
<p><b>研究実施体制</b></p>	
<p>研究責任者</p>	<p>所属：長崎大学病院 口腔外科          氏名：大森 景介          住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1          電話：095(819)7698          FAX：095(819)7700</p>
<p>情報の管理責任者</p>	<p>長崎大学病院 病院長</p>
<p><b>問い合わせ先</b></p>	
<p><b>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</b>          長崎大学病院 口腔外科 大森 景介          〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号          電話：095(819)7698 FAX 095(819)7700</p>	
<p><b>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</b>          苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200          受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>	